

モアいずみ通信

第274号 令和8(2026)年4月1日発行

4月は「若年層の性暴力被害予防月間」です



性犯罪・性暴力は、重大な人権侵害であり、決して許されません。政府は、入学・就職等に伴い、若年層の生活環境が大きく変わり、被害に遭うリスクが高まる時期である4月を「若年層の性暴力被害予防月間」と定め、SNS等の若年層に届きやすい広報媒体を活用した啓発活動を効果的に展開することとしています。

相手の同意のない性的な行為は性暴力であり、許されるものではありません。もし、自分が同意していない性的な行為をされたら、それは性暴力です。ひとりで抱え込まずに相談してください。

月間中は、若年層の様々な性暴力被害について予防啓発や相談先の周知、被害者に対する周りの人からのサポートの必要性などの啓発を行います。本月間を通じて、「同意のない性的な行為は性暴力」「被害者は悪くない」という認識を、社会全体に広げてまいります。(内閣府 男女共同参画局 HP より)

相手の同意のない性的な行為は性暴力です。

性暴力の悩み、ひとりで抱え込まないで。性別・年齢を問わず、相談できます。

性被害・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター

電話で相談 #8891

性被害被害相談電話(警察) #8103

Cure time(キアタイム)

SNSで相談

4月は若年層の性暴力被害予防月間 内閣府/警察庁/消費者庁/こども家庭庁/総務省/出産後/文部科学省/厚生労働省

家族・友人・知人が被害にあったとき

身近な人ができること

- 被害者が安全な場所にいるか確認してください。
- 「あなたは悪くない」と繰り返し伝えてください。
- 傷じて話を聞いてください。気持ちを丁寧に聞き、そのまま受け止めてください。

身近な人に気をつけてほしいこと

- 被害者の話を聴いたり、否定したりしない。×「それ本当?」
- 被害者を責めない。×「そんな顔、着てたから」
- 被害を軽いものとして扱ったり、無理に忘れさせようとする。×「たいたことない」
- 自分の感情した気持ちをそのまま被害者にぶつけない。×「なぜそんなことになったの?」
- 被害者の意思や気持ちを大切にせず、よかれと思って一方的に助産したり、話を進めたりしない。×「〇〇に相談すべき」
- 安易に共感を示さない、慰まさない、鼓勵しない。×「負けるな」



男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業 令和8年度 オアシス企画案を募集!

★助成対象事業

男女共同参画社会づくりの推進のために市民団体等が自主的に行う活動で、審査会において交付が適切と認められた事業(ただし、同一事業について市の他の助成金事業等と重複して申請することはできません)

★申請できる団体

和泉市内を活動の拠点とし、和泉市に在住、在勤する者が過半数を占める団体

★助成額

1事業で最高10万円を限度として審査会が必要と認められた額(ただし、予算の範囲内とする)



男女共同参画社会を推進するための研究・調査、講演会、冊子づくり、研修会などに活用しよう!

申請期間 4月6日(月)～5月13日(水)

審査日 6月30日(火)

※ 申請書類は4月6日(月)から、和泉市人権・男女参画室、モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)にて配布、もしくは和泉市ホームページからダウンロードをすることができます。

アドレス(URL)
https://www.city.osaka-izumi.lg.jp 和泉市ホームページ

【申込先・問い合わせ先】

和泉市人権・男女参画室 TEL:0725-99-8116
モアいずみ(和泉市男女共同参画センター) TEL:0725-57-6640
受付時間 平日のみ。午前9時～午後5時15分



←こちらの二次元バーコードからも申請書類をダウンロードすることができます。

【講座案内】

男女共同参画社会づくり講座

女性の居場所づくりを応援します

ブックカフェ ワークショップ
BOOKCAFÉ & WORKSHOP

日常から離れ、読んだ本の感想を話し合ったり、簡単なものづくりをしたりしながら交流しませんか？
あなたのお気に入りの本が、誰かの心に響く一冊になるかもしれません。



日時：4月23日（木）10：00～11：45

ワークショップ：オリジナルフォトフレームアレンジ

ブックカフェ（読書会）：心あたたまる本、今読んでいます

保育
無料

《場所》モアいずみ研修室（和泉シティプラザ北棟4階）

《定員》15人（女性のみ）

《材料費》110円

《申込》4月6日（月）から定員に達するまで
電話・FAX・WEBにて受付

※保育申込締切日：4月20日（月）

WEB申込は
こちらから



子育て応援講座 親子でふしぎあそび
～こどもの「生きる力」を育む～

使うものは日用品と親子の身体。

全身遊びとマジックを楽しみます。

親子の信頼関係を築きこどもが安心して

成長できる方法をお伝えします。



日時：4月25日（土）10：00～12：00

講師：和田 のりあきさん（マジックパパ代表）

《場所》モアいずみ研修室（和泉シティプラザ北棟4階）

《定員》6組18人、未就学児（4～6歳）と保護者

《持ち物》フェイスタオル

（40×80センチ程度の一般的なもの）

《申込》4月6日（月）から定員に達するまで

電話・FAX・WEBにて受付

※保育申込締切日：4月22日（水）

WEB申込は
こちらから



◆講座の初めに絵本の読み聞かせ◆

モアいずみ登録団体「読み愛」が担当します。

【申込先】

モアいずみ（和泉市男女共同参画センター）和泉シティプラザ北棟4階

TEL 0725-57-6640

FAX 0725-57-6643

（9：00～17：15まで

土・日・祝日も可。年末年始は除く）

※FAXの場合は、講座名・講座日・住所・名前（ふりがな）・電話番号（FAX番号）・
保育の有無（保育希望の方は、お子さんの名前（ふりがな）・月齢）をご記入ください。

※モアいずみ主催のすべての講座に保育があります。

1歳6か月以上、就学前までのこども（先着順・保育無料）

《講座報告》

男女共同参画社会づくり講座

モアいずみフォーラム「小説家の舞台裏、お見せします」2月28日（土）14：00～16：00

講師：蓮見 恭子さん（小説家）



《参加者の声》

- ・自分もあきらめずに続けたら夢が叶うかもと勇気をもらえました。知っている場所や、部活動の話が出てきておもしろかったです。（女性・30歳代）
- ・小説家になるプロセスが小説になると思うくらい先生の人生や語り口が気さくでおもしろかった。（女性・60歳代）
- ・とても興味深い内容でした。未知の世界である小説家について、創作の流れについても知ることができました。取材力がすごい。またシンクロやマラソンなど、アクティブさもすごい。貴重なお話をありがとうございました。（男性・70歳代）
- ・大変おもしろく聞かせていただきました。プロになるまでのくわしいきさつ、苦難の道のり、蓮見さんならではの話しぶりがリアルで感動すら覚えました。私も小説学校に通い始めており、励みとさせていただきます。（男性・70歳代）

- ・いろいろなことにチャレンジされている蓮見さんに元気をもらいました。「何かをはじめるとに遅すぎるということはない、思いついたときが一番若いとき。思いきって飛び込もう」という言葉、大切にしていきます。

（性別年齢無記入）



『たこ焼きの岸本』
蓮見恭子（著）
ハルキ文庫



『はにわラソン』
いっちょマラソンで町おこしや！
蓮見恭子（著）
双葉文庫

《 講座報告 》

男女共同参画社会づくり講座

「くらしにまつわる記事の読み解き方」2月26日（木）10：00～11：45

講師：島 香奈恵さん（読売新聞社会部生活課記者）

《参加者の声》

- ・新聞をあまり読むほうではないのですが、よく見るといろいろなコーナーがあり、ためになる情報、考え方などヒントがいっぱい詰まっているのを改めて教えていただき、新聞からいろいろ勉強でき、知恵がつけられると思ううれしくなりました。（女性・70歳代）
- ・記事のネタはいろいろなところにあるが、重要なのは常に問題意識をもって、感度を高くしておくことで理解できました。このような視点を意識することにより、より幅広い情報・知識が得られ、より豊かな生活が送れるように感じました。（男性・60歳代）



- ・くらし面は本当に多岐にわたるんですね。感心しました。「記事ができるまで」のお話も貴重でした。聞かせていただいて興味深かった。「話題探し」のお話、ありがとうございました。「記事のタネを見つけよう」では、たくさんの方がいろいろなことに関心を持っていることがわかり、なるほどと思いました。（女性・60歳代）

モアいずみの図書コーナーで貸出しています。

『「遺骨を捨わない・お墓をつくらない」葬送を考える』
源淳子(著)/同時代社



モアいずみ出前講座

「人生100年時代の終活を考える」～自分らしく生きるために～
3月5日（木）14：00～16：00

講師：源 淳子さん（女性学研究者、世界人権問題研究センター登録研究員）

《参加者の声》

- ・すぐくためになりました。墓について、自分の死後について、考え方が定まりスッキリしました。（女性・60歳代）
- ・自分らしく生きることの大切さを考えられるよい時間でした。終活について夫婦で話し合ってみたいと思います。（女性・70歳代）

- ・今をどう生きるか？どう考えるか。そうおっしゃった先生に感謝です。（性別無記入・70歳代）
- ・日常生活で簡単に話し合える話題とは考えにくいので、貴重な時間に参加でき、感謝しています。現在はまあまあ元気に暮らしているので、今しばらくはこの問題にじっくり向き合って納得のいく人生を終えたいと思います。（女性・70歳代）

女性の健康講座「私たちの身体のことを知ましょう！」3月8日（日）10：00～11：45

講師：玉上 麻美さん（大阪公立大学大学院看護学研究科 ウィメンズヘルスケア科学教授）

《参加者の声》

- ・レジュメが見出しだけでなく、文も入れてくださっているのがありがたかった。今まで、聞き書きだとスピードについていけず、読み返してもわかりづらいことが多かったので、今回は先生のお話と紙面の文を見ながら聞くことができた。いつも良質の、いい講演をありがとうございます。来年度も期待しています。（女性・60歳代）
- ・国際女性デーの今日、思春期から老年期までの女性の心身のことを学ぶことができ、有意義な時間でした。（女性・50歳代）

- ・老年期の過ごし方が理解できて、不安な気持ちが楽になった気がします。（女性・70歳代）
- ・説明がとてもわかりやすかったです。女性はとても大変と感じました。自分の体を大切にしなければと改めて思いました。この先は娘（37歳）の体が心配だったりしました。（女性・60歳代）
- ・とても理解しやすい内容でした。老年期の自分にとっては今のままの状態を続けていくことが大切なことと再認識しました。（性別無記入・70歳代）



いずみワクワク講座

パパと一緒にバスボム作り講座

2月22日（日）13：30～15：00 講師：富士 淳子さん（NPO 法人 和泉 100 人委員会）

《参加者の声》

- ・バスボムを初めて作ったし、バスボムを作ってみたかったから、夢のような時間でした。（女子・9歳）
- ・バスボム作ったことないから。（男子・8歳）
- ・子どもが入浴が好きで、とてもうれしそうに体験していて、参加して良かったです。（男性・40歳代）
- ・子どもをあきさせることなく、バスボムを作ることができて良かったです。（男性・30歳代）
- ・初めての体験で子どもと一緒に楽しめたため。また、バスボムの作り方も学べて良かったため。（女性・30歳代）

- ・ふうせんがたのしかった。（女子・5歳）
- ・みんなでワイワイすることに参加するのが初めてだったので楽しかった。（男性・30歳代）



後日寄せられた感想

今夜、早速お土産にいただいたバスボムを使用したところ、カプセルの中から馬が出てきて、子どもが喜んでおりました。また参加させていただきたいと思います。

新着図書紹介



『あなたの言葉を』

辻村 深月 (著)
毎日新聞出版 発行

「辻村さんは大人なのに、どうして子どもの気持ちがわかるのですか？」
あの時、のみこんだひと言。いま感じている気持ち。その言葉はいつか必ず、あなたを助けてくれる。これから大人になる人たちへ、辻村深月と一緒に考える。
学校生活、出会いと別れ、読むこと、書くこと——自らの体験を元にまっすぐに語りかけるエッセイ集。

【本文より】

大人になってよかった、と思うこともたくさんあります。そのひとつが、「自分の言葉」で気持ちが伝えられるようになったことです。さあ、一緒に「あなたの言葉」を探しにいきましょう。(毎日新聞出版HPより)

『自分のために料理を作る 自炊からはじまる「ケア」の話』

山口 祐加 (著) 星野 概念 (対話に参加)
(株) 晶文社 発行



「自分のために作る料理」が、様々な悩みを解きほぐす。その日々を追いかけた、実践・料理ドキュメンタリー。

著者のもとに寄せられた「自分のために料理が作れない」人々の声。「誰かのためにだったら料理をつくれるけど、自分のためとなると面倒で、適当になってしまう」。そんな「自分のために料理ができない」と感じている世帯も年齢もばらばらな6名の参加者を、著者が3ヵ月間「自炊コーチ」！その後、精神科医の星野概念さんと共に、気持ちの変化や発見などについてインタビューすることで、「何が起きているのか」が明らかになる——。「自分で料理して食べる」ことの実践法と、その「効用」を伝える、自炊をしながら健やかに暮らしたい人を応援する一冊。(晶文社HPより)

1人3点まで図書やDVDの貸し出しを行っています。貸出期間は、3週間。

相談窓口

ご自身のこと、夫婦・親子関係のこと、職場のことなど、ひとりで抱え込まず、お気軽にご相談ください。(和泉市の面接相談は和泉市在住・在勤・在学の人に限りです)

■ モアいずみ女性相談 相談無料・秘密厳守

カウンセリング 電話予約 0725-57-6640

第2・4(火) 13:00~17:00 (予約制・1人50分)

4月14・28日/5月12・26日

女性カウンセラーがあなたの悩みの相談(面接)に応じます。

法律相談 電話予約 0725-57-6640

第4(火) 13:00~16:00 (予約制・1人25分)

4月28日/5月26日

女性弁護士が法律に関する相談(面接)に応じます。

電話相談 専用電話 0725-57-7900

第1~4(水) 10:00~12:00/13:00~15:00

4月1・8・15・22日/5月13・20・27日

第1~4(木) 18:00~20:00

4月2・9・16・23日/5月7・14・21・28日

(祝日、年末年始を除く)

あなたの不安や悩みを電話相談員が聞きサポートします。

**配偶者やパートナーからの暴力(DV)相談
専用電話** 0725-99-8207

10:00~12:00/12:45~16:45 (面接は要予約)

(土・日・祝日、年末年始を除く)

DVにはさまざまな種類があります。まずはお電話を！

■ 大阪府の相談窓口

女性のための電話相談 06-6937-7800

火~金 16:00~20:00 / 土・日 10:00~16:00

男性のための電話相談 06-6910-6596

第1・4(水)16:00~20:00 / 第2・3(土)11:00~15:00

(年末年始を除く、祝日は振替)

大阪府女性相談センター 06-6949-6022

(配偶者等からのDV相談) 06-6946-7890

月~金 9:00~20:00 / 土・日 9:00~17:00

(祝日、年末年始を除く)

DV電話相談

【電話】06-6946-7890

※ 24時間365日受付

【FAX】06-6940-0075

大阪府貝塚子ども家庭センター

DV相談専用電話 072-430-6005

月~金 9:00~17:45 (土・日・祝日、年末年始を除く)

■ 内閣府の相談窓口

内閣府・DV相談^{プラス} 電話 0120-279-889

(24時間受付)

チャット相談 12:00~22:00

DV相談ナビ電話^{はれれば} #8008

(ご利用には通話料がかかります)

キュアタイム 性暴力の悩みをチャット・メールで

相談できます。 で検索を



編集・発行

モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)

〒594-0041 和泉市いぶき野五丁目4番7号(和泉シティプラザ北棟4階)

TEL:0725-57-6640・FAX:0725-57-6643・E-mail:jindan@city.osaka-izumi.lg.jp

開館時間:9:00~17:15 年末年始は休館(12月29日~1月3日)